

## ① 参加者の問題意識等共有

### ② 2024年問題に係る現況

(我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議資料より)

### ③ 物流効率化に向けた事例紹介(経産省作成事例集より)

### ④ トラックGメンの活動状況について

### ⑤ (公社)全日本トラック協会におけるトラック運送事業者の 経営診断・経営改善支援・運賃交渉支援事業について

## ⑥ 参考資料紹介

⑥-1 事前にいただいた問題意識等 (詳細)

⑥-2 最近のトピック (各省報道発表資料等)

⑥-3 原価計算・運賃交渉関係資料

# 事前にいただいた問題意識等

## トラック運送事業者の皆さんから

### ●「商慣行の見直し」、「運賃、料金、賃金関係」、「物流効率化（DX）」

- ・まだ、この業界は商慣習が根付いている。中小企業であっても規制による労務管理の重要性を根付かせる必要がある。
- ・同業者で運賃値上げどころか規制を無視している運送業者が多いので荷主だけでなく経営者の意識改革が必要と思う。
- ・物流データのデジタル化の推進、様々なシステム化へのトレンド情報がほしい。費用対効果の高い商品を教えてほしい。

## 元請トラック運送事業者の皆さんから①

### ●「商慣行の見直し」、「運賃・料金、賃金関係」、「人材確保」、「法規制」、「物流効率化（DX、標準化）」

- 商慣行の見直しは至極当然であると広く認識され浸透することが必要。・着荷主側の受け入れ態勢、待ち時間はあまり変化がない。
- ・2次、3次の下請事業者までそのメリットが享受できていない。・新卒者などへの働き掛けは必要。
  - ・大消費地からの遠隔地（産地）について、少し柔軟な対応を求めたい。・バース予約システム導入顧客は多いが、機能していない。
  - ・パレタイズの難しい荷物を出荷する荷主の、2024問題対策について。

## 発着荷主事業者の皆さんから

### ●「商慣行の見直し」、「運転者確保」、「人材確保」、「法規制」、「物流効率化（DX、標準化）」

- ・着荷主側が2024年問題に対して他人事のような意識でなかなか変える事に積極的にならない。
- ・発荷事業者と着荷主事業者の基準明確化、責任配分適切化。着荷主は運送業者との契約等が一切無く到着時間等の指定もできず荷降ろし順番のコントロールができません。この場合着荷主としての責任を受けるか？発荷事業者へ責任転嫁できるのか？

## その他の皆さんから

### ●「商慣行の見直し」、「法規制」

- ・税理士と社長の制度理解。当局による規制の方向性明示。・零細企業に対する配慮。零細企業への訪問は指導からお願いします。（税理士事務所）